

別表 学校における働き方改革推進モデル校事業委託業務公募型プロポーザル 審査基準

審査の項目		配点	審査の視点
1	委託目的の理解	10	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書に記載された業務内容について、趣旨を理解した適切な内容となっているか。 仕様書に示された事項に加えて本業務の目的を達成するうえでの独自の提案がされているか。
2	働き方改革に関する事前講義	5	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の必要性を理解し、学校が目指すべき姿（目標）に向けて、具体的な取組のイメージを共有させる内容になっているか。 学校全体で協力しながら推進していくための意識醸成を図る内容になっているか。
	働き方改革推進に向けた伴走支援に関する業務1 (業務の効率化や削減、子どもに向き合う時間の確保について)	15	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化や削減、子どもに向き合う時間の確保につながる具体的な提案がされているか。
	働き方改革推進に向けた伴走支援に関する業務2 (自走する組織の構築について)	15	<ul style="list-style-type: none"> 伴走支援を受けるなかで、業務改善のノウハウ・スキルを身につけ、自走する組織の構築につながる提案がされているか。
	働き方改革推進に向けた伴走支援に関する業務3 (教育委員会、学校への相談体制について)	15	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会、学校の状況に応じて、柔軟な対応が可能であるか。
	成果報告会・講演	5	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間内で効果的な成果報告会となるような提案がされているか。また、その提案を裏付ける運営実績があるか。 講演者が働き方改革に関する豊富な知識と講演実績を持っているか。
	取組成果を横展開するための取組	15	<ul style="list-style-type: none"> 各モデル校での、取組成果を共有・活用するための資料の提案はできているか。 各モデル校の取組を県内公立学校で共有・活用し、県全体で学校の働き方改革を推進することができる取組の提案ができているか。
3	業務実績	10	<ul style="list-style-type: none"> 本業務と同種・類似業務の履行実績があり、十分な成果を上げているか。
4	経費に関すること	10	<ul style="list-style-type: none"> 見積金額は限度額以下であり、積算内訳が明確に示されているか。 業務の内容に見合った適正な金額であるか。 見積価格がより安価であるか。
総得点数		100	